

ドイツ連邦食糧農業消費者保護省(BMELV)、鳥インフルエンザに関する Q&A を公表 (2007/6/25 更新)

http://www.bmelv.de/cIn_044/nn_754188/DE/07-SchutzderTiere/Tierseuchen/Vogelgrippe/Gefluegelpest-FragenAntworten.html

ドイツ連邦食糧農業消費者保護省(BMELV)は、飼育者及び消費者に情報提供するための鳥インフルエンザに関する Q&A を公表した(2007年6月25日更新)。質問事項は以下のとおり。

基本的質問

- Q1. 鳥インフルエンザ(AI)とは？
- Q2. AI は、ペットやヒトにも感染するのですか？
- Q3. ヒトは感染した鳥から感染しますか？
- Q4. AI ウイルスがヒトに伝播する可能性はどの程度ですか？
- Q5. ヒトの AI 集団感染に対しても十分な準備がなされていますか？

消費者からの質問

- Q6. 死亡した鳥を見つけたらどうすべきですか？
- Q7. 子供を公園で遊ばせてもよいですか？
- Q8. 家きん肉、卵、他の家きん製品を食べてもよいですか？生卵は？これらから AI に感染する危険はありますか？食品を購入する際に注意すべきことは？
- A8. まずドイツの家きん農場は AI フリーであることを確認しておく。又、野鳥から家きんへのウイルス伝播 を最小限に抑えるための予防措置が公布されている。それゆえ、通常の衛生措置に留意した上で、家きんを含む食品を購入し摂取可能である。感染家きんの生卵から病原体が伝播する可能性があるが、卵に十分火を通すと病原体は死滅する。
- Q9. 生卵を吹いてもいいですか？ (訳注：卵細工のため)
- Q10. 子供が幼稚園で生卵を吹いたと言っていますが、私は何をすべきですか？
- Q11. 個々人は予防のために何ができますか？ (たとえば旅行中に)
- Q12. AI に対し、どのような国際的活動がありますか？

動物飼育者からの質問

- Q13. なぜ多くの飼育者が、屋内飼育義務を免除される例外認可を得ているのですか？
- Q14. AI 措置及び屋内飼育義務の遵守は誰が管理しているのですか？
- Q15. 強化された獣医検査 (特に例外認可の場合) の費用は誰が負担するのですか？
- Q16. 鳥類の AI 検査はどのように行われるのですか？
- Q17. AI 措置はどのように調整されていますか？
- Q18. ワクチンがありますか？
- A18. 基本的に AI に対するワクチン接種は禁止されている。明確に規定された例外のケースでは、欧州委員会はワクチン接種を認可できる。フランス及びオランダは欧州委員会により、特定のリスク地域の特定の種へのワクチン接種を認可されている。東南アジアでは状況が違い、汚染地域のウイルス密度を低減させるためにワクチンが接種されている。

経済家きん用のワクチン開発は、フリードリッヒ・レフラー研究所(FLI/連邦動物衛生研究所)で

始まったばかりである。

Q19. 個々人（特に飼育者）は、ヒトに感染するウイルスからどのように身を守ることができますか？

Q20. 指令により動物が殺処分される場合、誰が支払うのですか？

ペットに関する質問

Q21. ペットへの危険はどのように評価されていますか？

Q22. 伝書鳩も AI 措置の対象ですか？

Q23. ペットを AI から保護するため、連邦政府はどのような措置を講じていますか？

Q24. ペット所有者は、自己の責任において、どのような追加的措置を行うことができますか？

Q25. 家きんショー及び家きん市を開催してもよいですか？

Q26. 家きんモニタリング費用は誰が負担するのですか？

野生動物及び狩猟に関する質問

Q27. カモや白鳥などの野鳥に餌を与えたり、自分の鳥小屋を作ってもよいですか？

Q28. 強化された野鳥モニタリングによってハンターは危険にさらされていますか？ハンターはどのように身を守ることができますか？狩猟犬は、病気の鳥から感染しますか？

Q29. 野鳥モニタリングはどのように行われるのですか？